



©2005 石塚真一小学館

第 279 号 (令和4年(2022 年)9月 28 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

死亡率は夏山の 2 倍以上！データで見る紅葉登山に潜むリスク

まもなく紅葉シーズン。日本アルプスや八ヶ岳連峰など長野県の山へ出かける人も多いのではないのでしょうか。長野県山岳遭難防止対策協会が発信している島崎三步の「山岳通信」には、多くの遭難事例が掲載。けれどもこれらの遭難を他人事のように考えていませんか。

実は紅葉シーズンの死亡率は夏山シーズンの 2 倍以上(キノコ採り含む)、あなたがその当事者になるかも知れません。

<https://yamahack.com/5433> (YAMAHACK 掲載)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

9 月 4 週は、死亡遭難を 1 件含む 6 件の遭難が発生し、うち 2 件はきのこ採りによる遭難でした。

死亡遭難は、槍ヶ岳北鎌尾根といういわゆる「バリエーションルート」で発生しています。北鎌尾根は、複雑な岩稜帯を進む、非常に難易度の高いルートで、通常の登山ルートと違い、技術・経験・体力・ルートファンディングがそろっていることはもちろんですが、それに加えて気象条件が良いことが登頂する上で、とても重要になります。

また、岩場でクライミング中の落石遭難も複数発生しています。

岩場のクライミングは、安全性が保証されていないため、岩の崩落・崩壊などの危険性があり、特に降雨後は落石が起りやすくなります。

クライミング中は、掴む岩が崩落しないか、登るルート上に崩壊しそうな岩がないかなどを確認し、落石を発生させないことが大前提ですが、もし落石を起こしてしまったり、自然落石が起きた場合には、必ず「ラーク」と声を出し、周囲に注意喚起をしましょう。

きのこ採り遭難は、2 件とも単独行動によるもので、うち 1 件は行方不明となっています。

前号のとおり、きのこは崖のような急斜面に生えることが多く、きのこ採りに夢中になり自分の居場所がわからなくなるなど、通常の登山よりもはるかに遭難のリスクが高くなります。

きのこ採りに行く際は、登山と同様に必ず地図・携帯電話・防寒着・ヘッドライト・非常食飲料等を携行し、家族に必ず行き先を告げ、単独入山は控えましょう。

発生状況

日付	場所	年齢	性別	態様	死傷別	概要
9月22日	北アルプス 槍ヶ岳	62	男	滑落	死亡	2人パーティで槍ヶ岳に向けて北鎌尾根を登山中、滑落
22日、2人パーティで、北アルプス槍ヶ岳北鎌尾根を登山中の男性(62歳)が、滑落する山岳遭難が発生し、24日、県警ヘリが出動して救助しましたが、死亡が確認されました。						
9月25日	北アルプス 槍ヶ岳	43	男	落石	負傷	3人パーティで槍ヶ岳小槍をクライミング中、落石により、負傷
25日、北アルプス槍ヶ岳小槍において、クライミング中の男性(43歳)が、落石により負傷し行動不能となる山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。						
9月25日	八ヶ岳連峰 横岳	51	女	落石	負傷	6人パーティで大同心をクライミング中、落石により、負傷
25日、6人パーティで、八ヶ岳連峰横岳大同心でクライミング中の女性(51歳)が、手指を負傷して行動不能となる山岳遭難が発生し、消防防災ヘリが出動して救助しました。						
9月25日	四阿山	70	女	疲労	無事救出	4人パーティで四阿山山頂に向けて登山中、疲労により、行動不能
25日、4人パーティで四阿山に入山した女性(70歳)が、登山中に体調不良となる山岳遭難が発生し、防災ヘリが出動して救助しました。						
9月25日	下高井郡山 之内町大字 平穏地籍山 林内	81	男	不明	行方不明	単独できのこ探り中、行方不明
25日、下高井郡山ノ内町の山林に単独できのこ探りに入山した男性(81歳)が、行方不明となり、捜索して26日発見・救助しましたが、死亡が確認されました。						
9月25日	上田市別所 温泉地籍 山林内	70	男	道迷い	無事救出	単独できのこ探り中、道に迷い、行動不能
25日、上田市別所温泉の山林に単独できのこ探りに入山した男性(70歳)が、山林内で行動不能となり、警察と消防で捜索して救助しました。						

令和4年(2022年)中の山岳遭難発生状況(令和4年(2022年)1月1日～9月25日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和4年(2022年)	219	25	3	105	108	241	133
内)単独登山	74	11	2	26	35	74	39
内)山菜きのこ採り	14	1	2	1	10	14	4
令和3年(2021年)	205	35	1	94	93	223	130
前年同期比	+14	-10	+2	+11	+15	+18	+3
内)単独登山	-11	-7	+1	-4	-1	-11	-10
内)山菜きのこ採り	+2	-4	+2	-2	+6	+2	-4

■山域別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～9月25日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	34	15.5%	6	0	20	10	36
	後立山	43	19.6%	5	0	18	26	49
	その他	25	11.4%	3	1	11	11	26
	計	102	46.6%	14	1	49	47	111
中央アルプス	13	5.9%	2	0	6	5	13	
南アルプス	6	2.7%	0	0	3	3	6	
八ヶ岳連峰	43	19.6%	4	0	25	22	51	
その他の山岳	55	25.1%	5	2	22	31	60	
計	219		25	3	105	108	241	



目標額2,000万円
7.1～9.30実施中!

**信州の山小屋
応援プロジェクト**

—ふるさと納税で応援するクラウドファンディング—



■態様別発生状況(令和4年(2022年)1月1日～9月25日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	55	25.1%	16	0	41	0	57
転倒	52	23.7%	0	0	52	0	52
病気	20	9.1%	5	0	0	15	20
道迷い	37	16.9%	0	0	0	46	46
落石	3	1.4%	0	0	4	0	4
雪崩	4	1.8%	2	0	2	0	4
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	24	11.0%	1	0	0	27	28
不明・他	24	11.0%	1	3	6	20	30
計	219		25	3	105	108	241

■男女別・年齢別比率(令和4年(2022年)1月1日～9月25日)

区分	男性					(人)	女性					(人)	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計	比率	死者	不明	負傷	無事	計	比率	人数	比率
19歳以下	0	0	2	5	7	33 20.2%	0	0	0	1	1	11 14.1%	8	44 18.3%
20代	1	0	3	14	18		0	0	2	3	5		23	
30代	0	0	2	6	8		1	0	3	1	5		13	
40代	3	0	19	8	30	55 33.7%	0	0	8	5	13	37 47.4%	43	92 38.2%
50代	2	0	13	10	25		2	0	12	10	24		49	
60代	8	0	13	21	42	75 46.0%	2	0	10	3	15	30 38.5%	57	105 43.6%
70以上	4	2	13	14	33		2	1	5	7	15		48	
計	18	2	65	78	163		7	1	40	30	78		241	
比率	67.6%						32.4%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。